

獣医師



農林水産部
中央家畜保健衛生所 防疫班
技師 中村 南斗

経歴：採用3年目

R 2年 農林水産部
中央家畜保健衛生所 防疫班
H30年 入庁
農林水産部
北部家畜保健衛生所
総務・衛生指導班

ある日のスケジュール

8:15 出勤(自家用車)
8:30 朝礼、メールチェック
9:00 出張の持ち物確認
9:30 公用車で農場へ
10:00 農場情報聞き取り、
検査材料の採取
12:00 昼食(道の駅の食事処など)
13:00 帰庁、車両及び使用器具等の
消毒・洗浄
13:30 午前中採取した材料を用いた
検査
15:30 出張報告書及び検査の
業務記録作成
16:30 翌日の日程確認、出張準備
17:15 退庁
17:30 買い物
18:00 帰宅
19:00 夕食
20:00 入浴
22:30 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

家畜保健衛生所は産業動物(牛・豚・鶏など)の飼養衛生管理の向上や畜産振興などを業務にする機関です。県内には、北部(北秋田市)・中央(秋田市)・南部(大仙市)の3箇所があり、中央家畜保健衛生所は、家畜疾病の発生予防や検査などを行う「防疫班」、動物用医薬品店舗の許認可や環境保全などの業務を行う「総務・衛生指導班」、鳥インフルエンザや豚熱、その他疾病の原因究明と診断を行う「病性鑑定班」の3班体制で各班4～6人で構成されています。

年代は様々ですが、班員同士、普段からコミュニケーションが活発に交わされ、仕事以外の話題も話しやすい職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

「防疫班」に所属し、疾病発生予防のため農場に出向いて家畜の血液や糞便等の検査材料を採取し、帰庁後に検査を行います。鶏やあひるなどの“家きん”や蜜蜂の疾病等に関わる業務を担当していますが、農場へは担当の枠を超え班全員で行くため、様々な畜種の現場で、幅広い知識と技術を身につけることができます。

また、家畜の伝染病の発生を想定した訓練を地域振興局職員とともに定期的に行い、防疫体制の強化にも取り組んでいます。

秋田県のここが好き！

秋田県は四季が明瞭に分かれており、その季節の良さを存分に味わうことができます。食に関しては特に秀でており、豊かな水と土壌に育まれたお米や野菜、秋田牛や比内地鶏などの肉や魚と、おいしい食べ物が沢山あります。

農林水産部の獣医師職のやりがい(楽しさ)はここ！

家畜衛生の向上と畜産振興を図るため、多くの農場を訪問します。

家畜とその飼養者に関わる中で、農場の抱えている問題やその対策などを話し合い解決することで、家畜の事故率が低減し、生産性の向上に寄与できることにやりがいを感じます。

オフは何をしていますか？

天気の良い日は、ドライブに出かけて景色と名物を楽しんでいます。外出せず、部屋で映画鑑賞に没頭する日もあります。

季節によっては花見やマリンスポーツ、キャンプに出かける日もあります。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

面接試験で自身の考えを分かりやすく伝えることが大事であるため、なぜ公務員獣医師になりたいのか、どのようにして秋田県に貢献したいか、その他面接試験でトピックスとなりうる事柄について意見を整理しました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

周りには県外出身者も多く、出身地は問わずどなたでも働きやすい環境だと思います。また、大学で学んだ知識を幅広く生かすことが可能な職場ですので、是非進路の選択肢に加えてみてください。秋田県職員として一緒に働きましょう！